

## え？ 私が教えるんですか？

ようやく「仕事」というものがぼんやりとわかってきて、自分なりにリズムもつかめるようになってきたばかりだというのに、院長先生から「次の新人さんの教育、よろしく」「パートさん・アルバイトさんのこともよろしく」と言われてしまったら……。いったいどうすればよいのでしょうか？

ほとんどの歯科医院は少ない人数で構成されています。自分では「まだまだ」と感じていても、思いがけなく「教育係」の役目が回ってくることも実際には珍しくありません。

「うわ～どうしよう。まだまだあやふやなところもいっぱいあるし……。でもせっかく指名されたのだから、なんとかやらなくちゃ。何から始めればいいのか？ 教えないといけないことは山のようにあるし！ どれからどうすれば？ ちゃんと覚えてもらえるかしら？」

この本は、そんな不安でいっぱい、パニック寸前のみなさまの「お守り」になればいいなと思って書きました。「どうしよう」と感じたとき、ぜひパラパラと本をめくっていただければと思います。

もちろん、「新人さんはいままで何人も教えてきたけれど、これでいいのかしら？」「いままではなんとかできていたけれど、最近の新人さんにはどうも伝わっていないような気がする」とお悩みのチーフのみなさんが読めば、ご自分の教え方を振り返ることができ、より教え上手になれるようなエッセンスをちりばめました。

新人さんの教育に際し、技術的なことは他にたくさんの本が出ています。それらを使って学ぶ前に、ぜひこの本で「関係性の作り方」をおさらいしてください。自分の気持ちがあまく伝わらないとき、プレッシャーに押し潰されそうになったときにも、きっと役立つと思います。

「教える」「教わる」関係だけでなく、ともに成長していこうとするみなさんを応援しています。さあ、一緒にがんばっていきましょう。

